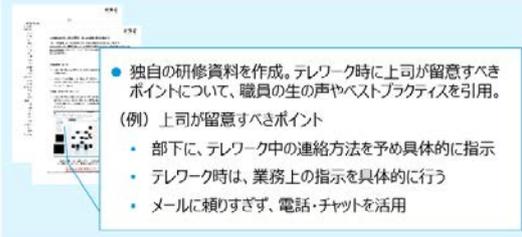


府省名	財務省	部署名	財務省再生プロジェクト人材育成タスク フォース
取組のポイント			
<p>「テレワーク下のマネジメントについて研修を実施して欲しい」という職員の要望に応え、これに特化した実践的研修を独自に企画して実施。若手職員が主体となり独自に研修資料を作成し、職員のテレワークに関する不安やベストプラクティスについて、現場の声を吸い上げた。受講者の9割以上が研修に満足していると回答。好事例の横展開を図るため、研修資料を他省庁にも共有。</p>			
取組概要			
<p>【取組の背景】 令和2年春頃の出勤抑制の結果、多くの職員がテレワークを経験。アンケートの結果、テレワーク下のマネジメントについて研修要望が多く存在したことから、民間事業者等に広くヒアリングを行ったものの、財務省の現状に即した外部研修が存在しないことが判明。このため、独自に研修を開発・実施した。</p> <p>【取組の内容】 「テレワークマネジメント」という新たな課題に対して、職員の生の声を吸い上げ、3か月程度の短期間で新規研修を独自に企画し、機動的に実施。テレワーク時に上司が留意すべきポイントについて、財務省職員の生の声やベストプラクティスを引用しつつ、具体的かつ網羅的に研修を実施した。併せて、部下の視点から、上司に成果を見せるテレワーク方法についても研修を実施した。 また、テレワーク時に活用できるITツールについて、マニュアル類を統合し、一覧的に把握できる概要資料を作成、リモートハラスメントを防止するためテレワーク時のパワハラやセクハラに類する行為について研修を実施した。また、テレワーク時に生じる課題について、実際に職場に存在するケーススタディを独自に開発し、研修を実施した。</p> <p>【取組の成果】 約130名が研修に参加し、9割以上が満足と回答。「職員の生の声やベストプラクティスが多数盛り込まれており大変参考になった」「突然始まったテレワークに戸惑いが大きかったが、研修を受講しテレワーク共通の問題であることが理解できた」等の評価する声が寄せられた。研修資料は他省庁にも共有し、横展開を実施。</p>			
 <ul style="list-style-type: none"> ● 独自の研修資料を作成。テレワーク時に上司が留意すべきポイントについて、職員の生の声やベストプラクティスを引用。 (例) 上司が留意すべきポイント <ul style="list-style-type: none"> ・ 部下に、テレワーク中の連絡方法を予め具体的に指示 ・ テレワーク時は、業務上の指示を具体的に示す ・ メールに頼りすぎず、電話・チャットを活用 			
【独自の研修教材】		【テレビ会議を通じたミーティングの活用】	
講評			
<p>急速なテレワークの普及に伴い発生する課題にタイムリーに応えた好事例。テレワークマネジメントのマニュアルは、管理職の視点と部下の視点の両者から解説されており評価できる。他府省等にも横展開している点もよい。</p>			